



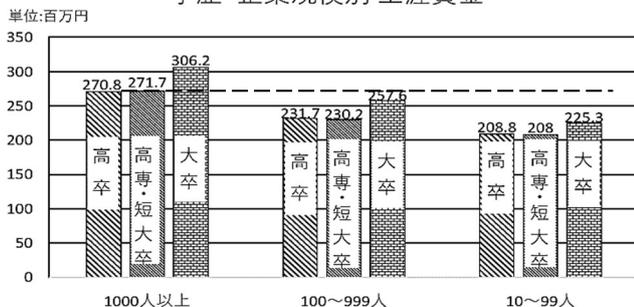
### 就職検討に向けて

就職先を決めることは大変なことです。人生の中で大きな決断の1つとっていいでしょう。人それぞれ重視するポイントは違いますが、今回は判断の参考になるデータをご紹介します。

かつて高卒就職者は「七五三現象」として、5割が3年以内に離職しているという離職率の高さが問題とされてきました。その状況は変わりつつあるようです。「令和4年度新規高卒者就職問題連絡会議」のまとめによると、高卒 35.9%、大卒 31.5%となっており、その差はわずか 4.4%。さらに事業所規模が大きいほど離職率が低い傾向が見られています。規模の大きい会社は福利厚生や教育等がしっかりしており安定して働けるので、辞める人がほとんどいないということではないでしょうか。

事業所規模で比較したデータをもう一つ示します。労働政策研究・研修機構の2022年の資料によると企業規模別の生涯賃金には大きな差が生じています。単純に学歴で比較すると、大卒の賃金が高いわけですが、これを事業所規模別に分けると大卒で従業員1000人未満の企業に就職するより、高卒で1000人以上の企業に就職したの方が生涯賃金が約1300万円高いことがわかります。

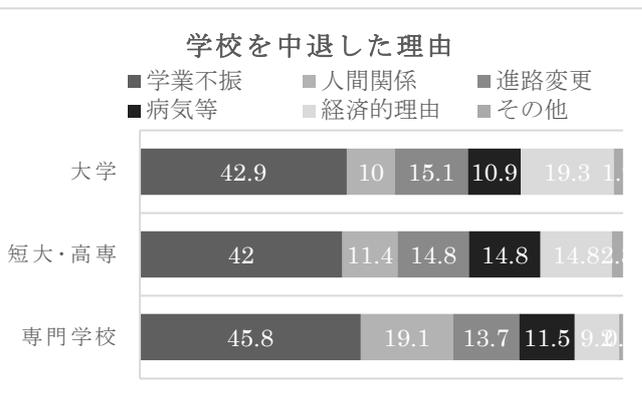
学歴・企業規模別 生涯賃金



今年の3年生は、約43%が従業員1000人以上の大企業から内定をもらっています。種子島高校には大企業からの求人が多数あり、幅広い企

業の中から選択できる状況にあります。とりあえず進学し多額の学費を支払って学生生活を過ごしたけれども、結局思うような会社に就職できなかったということになる前に、一度就職についても、しっかり考える時間を持ってください。

例えば、下のグラフをご覧ください。



学校を中退した人にその理由を聞いたところ、一番の原因は、学業不振です。大学や短大の授業についていけず、やむを得ず学校を辞めたという人が4割を超えています。学校を辞めて働こうと思っても、中退者は卒業者に比べて無業（ニート）が多く、就職できた人も非正規雇用が多いというデータがあります。高校の時に就職しておけばよかったと後悔しても遅いです。進学する人は、自分の適性や目標をしっかりと考えて決断することが大切です。

### 1・2年生対象に進路セミナー開催

12月14日に進路セミナーが開催されました。ハローワークの塩浦先生にご講話をいただきました。また、本校3年生6名による就職試験体験発表と昨年引き続き、模擬面接もしてもらいました。発表した3年生の皆さんありがとうございました。1・2年生の皆さん、今回のセミナーをきっかけに今一度、自分の進路に向き合ってみましょう。近い将来はきっと希望の進路を実現できるはずですよ。



3年生による模擬面接